

# STAR JEWELRY

## RADIO STAR

- ・正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- ・お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

### 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



#### 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



#### 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

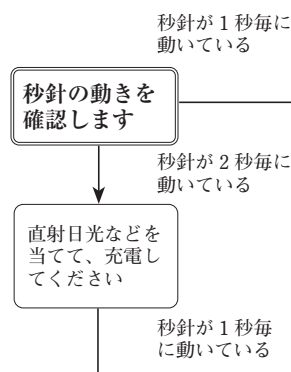
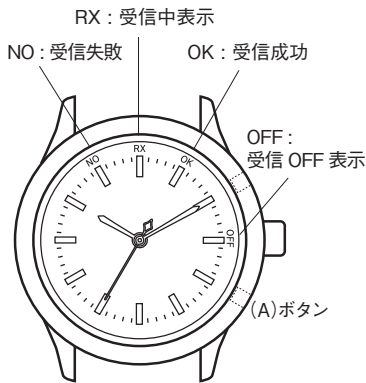
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)



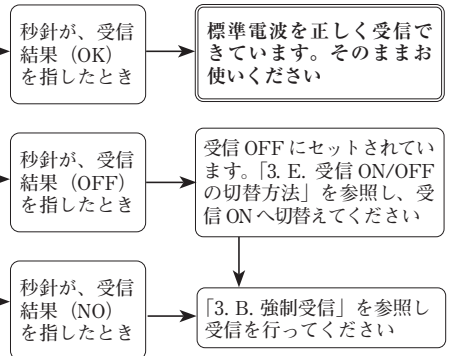
このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

1

## ご使用になる前にお確かめください



4 時位置の (A) ボタンを押して受信結果を確認しましょう



☆ 受信ができない場合はお買い上げ店にお問い合わせください ☆

2

3

## 標準電波受信の機能について覚えてください

### 定時受信

毎日午前 2 時または 4 時に、自動的に電波を受信し時刻を合わせます。  
(午前 2 時に受信した場合は午前 4 時の受信は行いません)

### 強制受信

いつでも受信を行えます。受信環境が変わり、定時受信ができなかった場合等に行ってください。  
(最大で約 15 分お待ちいただく場合があります)

### 受信 ON/OFF 選択機能

電波を受信したくない場合は、受信 OFF 機能をご使用ください。  
海外でもまれに日本の標準電波を受信する地域では、受信 OFF 機能で受信を停止させることにより、日本の標準電波を受信しても日本の時刻へ戻ることを防ぎます。

### 復活自動受信

充電不足で時計が止まった後、時計に光を当てて十分に充電されると、1 度だけ自動的に受信を行います。

### ●安定した受信をするために

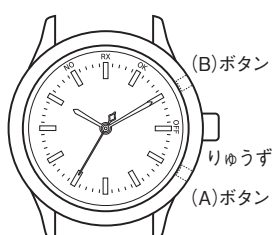
受信の際は時計を腕から外し、9 時位置を電波送信所方向に向け、窓際等の電波が受信しやすい安定した場所に置いて受信してください。

受信中は時計を動かさないでください。

4

5

## 各部の機能一覧表



|         | りゅうず位置 | ボタン押し時間 | 機 能                     | 針の動き                 |
|---------|--------|---------|-------------------------|----------------------|
| (A) ボタン | 通常     | 1 秒押し   | 受信結果確認                  | 秒針が OK/NO/ (OFF) に停止 |
|         |        | 2 秒押し   | 強制受信                    | 秒針が RX に停止           |
|         |        | 7 秒押し   | 受信 ON/OFF 切替            | 秒針が OFF または、RX に停止   |
| (B) ボタン | 引き出し   | —       | —                       | —                    |
|         | 通常     | 1 秒押し   | 1 時間毎の時刻修正モード (※ 1)     | 秒針が往復運針              |
|         |        | 5 秒押し   | 基準位置確認 (※ 2)            | 0 時 0 分 0 秒に停止       |
| りゅうず    | 引き出し   | —       | —                       | —                    |
|         | 通常     | —       | (※ 1) 後に 1 時間毎の時刻修正     | —                    |
|         | 引き出し   | —       | 時刻修正<br>(※ 2) 後に基準位置合わせ | 秒針が 0 秒で停止<br>—      |

6

7

## 目次

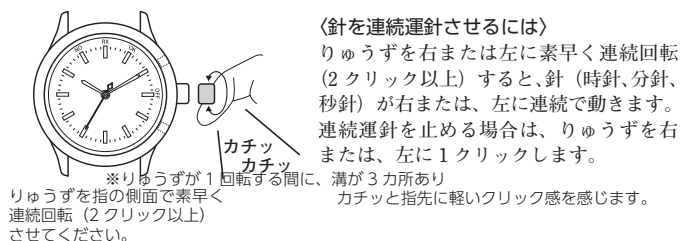
|                    |    |
|--------------------|----|
| 1. 商品の特長           | 10 |
| 2. りゅうずの操作方法       | 11 |
| 3. 電波受信について        | 12 |
| A. 定時受信            | 13 |
| B. 強制受信            | 14 |
| C. 復活自動受信          | 15 |
| D. 受信結果の確認方法       | 16 |
| E. 受信 ON/OFF の切替方法 | 18 |
| F. 受信可能地域の目安       | 20 |
| 4. 手動による時刻の合わせ方    | 24 |
| A. 時刻の合わせ方         | 24 |
| B. 1 時間単位での時刻合わせ   | 25 |
| 5. 時差修正の方法         | 26 |

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 6. 針の基準位置確認と修正方法         | 28 |
| A. 基準位置の確認方法             | 28 |
| B. 基準位置の修正方法             | 29 |
| 7. 光発電機能について             | 30 |
| 8. ソーラーパワーウオッチ充電時間の目安    | 32 |
| 9. 充電警告機能                | 34 |
| 10. 過充電防止機能              | 35 |
| 11. パワーセーブ機能             | 35 |
| 12. ソーラーパワーウオッチ特有の機能について | 36 |
| 13. 故障かな?と思ったら           | 38 |
| 14. ソーラーパワーウオッチ取り扱い上の注意  | 40 |
| 15. お取り扱いにあたって           | 42 |
| 16. 定期点検 (有償) について       | 53 |
| 17. 製品仕様                 | 54 |

## 1. 商品の特長

この時計は、福島と九州の電波送信所から送信される標準電波 (時刻情報) を自動的に受信環境の良い局を選んで受信し、時刻を自動修正する電波時計です。電波を受信し、時計から電波を発信することはありません。人体や医療機器への影響は一切ございませんので、安心してご使用ください。また、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させる光発電機能を持ったソーラーパワー電波時計ですので、光を当てることにより充電することができます。ソーラーセル (文字板面) に光が当たっていないときの時計の電力消費を抑える、パワーセーブ機能等も搭載しています。受信の ON/OFF 選択機能付きます。

## 2. りゅうずの操作方法



りゅうずがねじロックりゅうずの場合は、りゅうずを左に回してねじをゆるめてから操作を行い、操作が終わりましたらりゅうずを通常位置に戻した後、りゅうずを押しながら右に回して、ねじをきちんと締めてください。ねじ締めが不十分だとりゅうず曲がりや時間ちがいが、防水不良等の原因となりますので、十分ご注意ください。

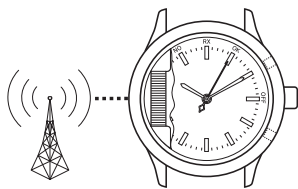
## 3. 電波受信について

電波受信には定時受信、強制受信、復活自動受信の 3 つがあります。電波を正しく受信すると自動的に時刻が修正されます。受信が完了すると、各針は受信した時刻へ正転または、逆転で移動します。

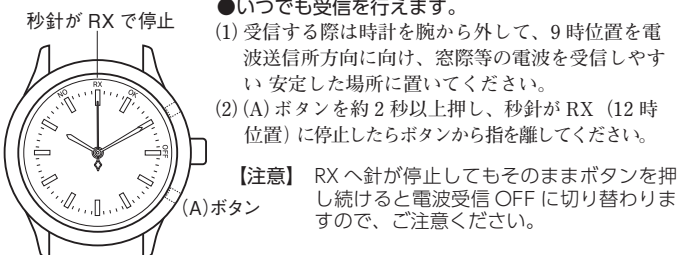
### 〈受信の方法〉

安定した受信をするために、時計を腕から外し、9 時位置を電波送信所方向に向け、窓際等の電波が受信しやすい安定した場所に置いて受信してください。受信中は時計を動かさないでください。

- ・電波は、金属のしゃへい物や環境により受信しにくいことがあります。建物内などでは、できるだけ窓の近くで受信してください。
- ・2 カ所の電波送信所 (福島局と九州局) からの距離が重なる中部地方や、東海地方においては、受信局が自動的に切り替わり、通常より受信時間が長くなることがあります。



### B. 強制受信



受信中に秒針が回転し、受信開始時からの時間差を自動的に修正しますが、受信完了ではありません。通常運針になるまで時計を動かさないでください。

・日の出、日の入り前後は、電波を受信しにくい場合があります。この時間帯を避けて受信を行ってください。

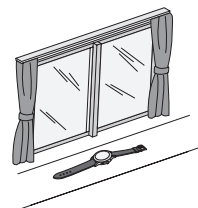
### A. 定時受信

●毎日午前 2 時または、4 時に自動的に受信を始めます。  
(午前 2 時に受信した場合は午前 4 時の受信は行いません)  
※定時受信のときは (A) ボタンの操作は必要ありません。

- (1) 受信する際は時計を腕から外して、9 時位置を電波送信所方向へ向け、窓際等の電波を受信しやすい安定した場所に置いて受信してください。
- (2) 秒針が RX (12 時位置) に移動し受信を始めます。受信中に秒針が回転し、受信開始時からの時間差を自動的に修正しますが、受信完了ではありませんので、通常運針になるまで時計を動かさないでください。
- (3) 受信が完了すると、秒針が RX から通常運針になります。  
「3. D. 受信結果の確認方法」にて受信結果を確認ください。

### C. 復活自動受信

●充電不足で時計が止まった後、時計に光を当てて十分に充電されると、1 度だけ自動的に受信を行います。この状態にならないように、常に充電を心掛けてご使用ください。



☆受信中に(A)ボタンを 2 秒以上押すと、受信を中止して通常運針に戻ります。

## D. 受信結果の確認方法

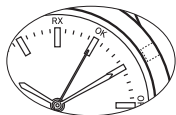
●受信に成功したか、失敗したかを確認することができます。

- (1) (A) ボタンを1秒押すと、秒針が「OK/NO」のいずれかに停止して、前回の受信結果を表します。

【注意】(A) ボタンを2秒以上押し続けると、秒針がRX (12 時位置) に移動し強制受信を開始しますので、2 秒以上押さないでください。

- (2) 受信結果は10 秒間表示した後、自動的に通常運針に戻ります。  
または、表示中に(A) ボタンを押して離すと通常運針に戻ります。

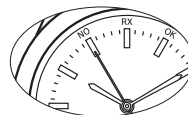
### ★OK (1 位置) 表示



電波受信に成功しました。  
正しい時刻へ修正されています。  
※受信に成功しても時刻が合わない場合は「6. 針の基準位置確認と修正方法」を確認してください。

16

### ★NO (11 時位置) 表示

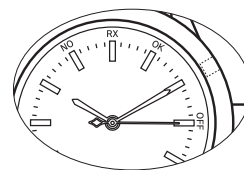


電波受信できませんでした。  
強制受信または、定時受信にて  
再度受信を試みてください。

### 〈秒針がOFF (3 時位置) を表示した場合〉

- 受信機能がOFF にセットされています。  
OFF 状態では定時/強制受信ともに行いません。  
受信機能ON への切替方法は「3. E. 受信ON/OFF の切替方法」を参照ください。

☆電波を正しく受信しても、受信環境や時計内部処理により、時刻表示にわずかなずれが生じます。



17

## E. 受信 ON/OFF の切替方法

●電波を受信させたくない場合は受信 OFF 機能をご使用ください。

海外でもまれに受信する地域では、受信 OFF 機能で受信を停止させることにより、日本の時刻へ戻ることを防ぎます。

### ★受信 OFF へ切替

●受信 OFF 状態では定時/強制受信共にできませんので、時計は月差±15 秒の精度で動きます。



(A) ボタン

- (1) (A) ボタンを押し続け(約7秒)、秒針がOFF (3 時位置) に移動したらボタンを離します。

【注意】秒針がRX を指しているときにボタンを離すと、強制受信を開始しますのでOFF へ移動するまで離さないでください。

- (2) 秒針がOFF 位置に停止(約10秒)後または、(A) ボタンを押して離すと、通常運針に戻り受信OFF になります。

18

### ★受信 ON へ切替

●受信 OFF 状態を解除し、定時/強制受信ができます。



(A) ボタン

- (1) (A) ボタンを押し続け(約7秒)、秒針がOFF 位置からRX (12 時位置) に移動したら、ボタンを離します。  
(2) 秒針がRX 位置に停止後、通常運針に戻り受信ON になります。

※受信OFF からON に切替後は、強制受信または、定時受信を行い時刻を合わせてください。

19

## F. 受信可能地域の目安

この時計は標準電波の受信局自動選択機能付きです。受信可能地域の目安は次の通りです。

ただし、時間帯や季節、天候などにより、電波状況が変化し受信可能地域が変化することがあります。

受信可能地域はあくまでも目安ですので、図の範囲でも受信できない場合があります。

### 〈電波送信所〉

- ・おたかどや山標準電波送信所 (福島局)
- ・はがね山標準電波送信所 (九州局)

電波時計で利用している標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが、保守点検等で送信が中断されることがあります。

標準電波が受信できない場合でも、時計は月差±15秒以内の精度で動き続けます。

20



日本に2カ所ある標準電波送信所から送信される標準電波は、10 万年に1 秒の誤差といわれるセシウム原子時計をもとに「独立行政法人情報通信研究機構」により管理運営が行われています。

21

### 「受信に要する時間」

受信にかかる時間は、約3～15分です。

### 「受信が困難な場所について」

電波ノイズが発生しやすい場所や、電波の届きにくい環境条件下では電波を正確に受信できないことがあります。

### ★極端に高温や低温の場所

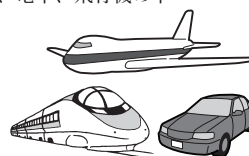


### ★鉄筋コンクリート建物の中

高層ビルや山などの谷間、地下



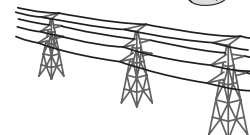
### ★車、電車、飛行機の中



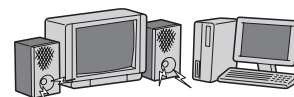
### ★通信中の携帯電話の近く



### ★高圧線(電線)、電車の架線、飛行場(通信施設)の近く



### ★テレビ、冷蔵庫、パソコン、ファクシミリ等の電化製品やOA機器の近く



22

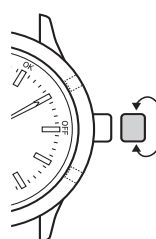
23



## 4. 手動による時刻の合わせ方

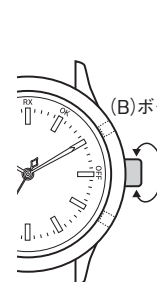
ねじロックりゅうずの場合は、はじめにねじロックをゆるめてください。

### A. 時刻の合わせ方

- 
- (1) りゅうずを引き出すと秒針が0秒位置に停止します。
- 【注意】 0秒位置で停止しない場合は、基準位置がずれている可能性があります。「6. 針の基準位置確認と修正方法」を参照ください。
- (2) りゅうずを回して時刻を合わせます。  
1クリックで1分ぶんの各針が連動して動きます。  
(右回しで進み、左回しで戻ります)  
りゅうずを素早く連続回転(2クリック以上)させると針が連続運針します連続運針を止める場合はりゅうずを右または、左に1クリックします。
  - (3) 時報等に合わせてりゅうずを押し込んで終了します。

24

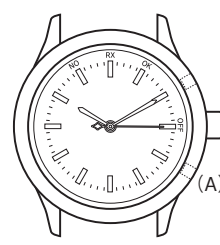
## B. 1時間単位での時刻合わせ

- 
- (1) (B) ボタンを押すと同時に、秒針が高速で往復運針後、通常運針になりましたら修正可能の合図です。  
(10秒間何も操作しないと、自動的に修正状態が解除されます)
  - (2) りゅうずを引き出さないで回転させると、針が高速で1時間ぶん動き、通常運針に戻ります。  
(右回しで進み、左回しで戻ります)  
通常運針後、10秒以内でしたら何度も操作を繰り返すことができます。
  - (3) 時刻合わせ後に (B) ボタンを1回押すか、何も操作しないで10秒経過すると、修正状態が解除されます。

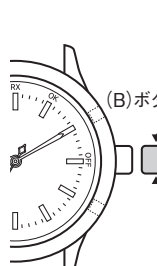
25

## 5. 時差修正の方法

●時差修正する際は、受信機能を停止(受信OFF)させてからの修正をお勧めします。  
海外で日本の標準電波を受信しても、日本時刻へ戻ることを防ぎます。電波を受信しない状態では、月差±15秒の精度で時計は動きます。

- 
- (1) (A) ボタンを押す(約7秒)、秒針がOFF(3時位置)に移動したらボタンを離します。
- 【注意】 秒針がRXを指しているときにボタンを離すと、強制受信を開始しますのでOFFへ移動するまで、離さないでください。
- (2) 秒針がOFF位置に停止(約10秒)後、通常運針に戻り受信OFFになります。

26

- 
- (3) (B) ボタンを押すと同時に、秒針が高速で往復運針後、通常運針になりましたら、修正可能の合図です。  
(10秒間何も操作しないと、自動的に修正状態が解除されます)
  - (4) りゅうずを引き出さない状態で回転させると、針が高速で1時間ぶん動き、通常運針に戻ります。  
(右回しで進み、左回しで戻ります)  
通常運針後、10秒以内でしたら何度も操作を繰り返すことができます。数時間の時差がある場合は、操作を繰り返し行って時刻を合わせてください。
  - (5) 時刻合わせ後に(B) ボタンを1回押すか、何も操作しないで10秒経過すると、修正状態が解除されます。
- ※日本時刻に戻す際は「受信ON」にした後、「定時または強制受信」にて電波を受信させ時刻を合わせてください。

27

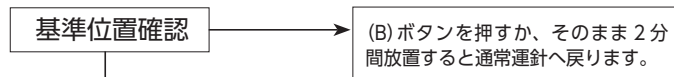
## 6. 針の基準位置確認と修正方法

電波時計は基準位置をもとにして、受信した電波時刻を針で表します。外部からの強い衝撃や磁気などの環境におかれた場合、基準位置がずれる可能性があります。ずれた状態で使用されると、電波を受信しても時刻が正しく表示されません。電波受信しても時刻が正しくない場合は、基準位置を確認し、修正してください。

- 
- 正しい基準位置  
0時0分0秒
- ### A. 基準位置の確認方法
- 基準位置が0時0分0秒の正しい位置になるか確認してください。
- (1) りゅうずは通常位置のまま、(B) ボタンを約5秒間押し続けます。
  - (2) 秒針が正転または逆転で動き始めたら、(B) ボタンを離します。  
全ての針が高速で運針し、時計の記憶している基準位置で止まります。

28

【正しい場合】 針が0時0分0秒を示します。



【ずれている場合】 針が0時0分0秒以外を示します。  
標準位置修正を行ってください。

### B. 基準位置の修正方法

- (1) りゅうずを引き出します。
  - (2) 針を0時0分0秒の基準位置に合わせます。  
りゅうずは1クリック右回しで1秒進み、左回しで戻ります。  
素早く連続回転(2クリック以上)させると、針が連続運針します。  
連続運針を止める場合は、りゅうずを右または左に回します。
  - (3) りゅうずを押し込むと、新しい基準位置を記憶します。
  - (4) (B) ボタンを押すか、そのまま2分間放置すると通常運針へ戻ります。
- ★万一、時刻が合わない場合は「3. B. 強制受信」を行ってください。

29

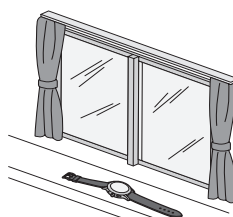
## 7. 光発電機能について

この時計には、電気エネルギーを蓄えるために二次電池が使われています。一度充電が完了すると、通常の使用状態(パワーセーブが作動しないとき)では、約6ヶ月間、時刻を刻み続けます。なお、パワーセーブが作動しているときは、約1.5年間となります。  
光の当たらない場所で保管される場合は、保管前に十分に充電されることをお勧めします。

### 〈この時計の上手な使い方〉

この時計を快適にご使用いただくためには、常に明るい場所での保管を心がけてください。

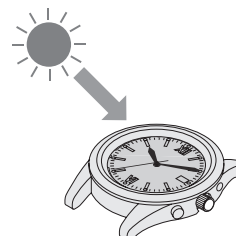
★充電は、文字板(ソーラーセル面)に直射日光や蛍光灯の光を当てて充電してください。



★時計を外したときも、時計の文字板面に太陽光が当たる、窓際等の明るい場所に置くように心掛けると、常に充電を続け時計は正しく動き続けます。

★日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりますのでご注意ください。  
月に一度は直射日光を当てて、充電することをお勧めします。

【注意】 車のダッシュボード等の高温になる場所での充電は避けてください。



30

31

8. ソーラーパワーウォッチ充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

| 環境                 | 明るさ<br>(lx,ルクス) | 充電時間 (約)             |                                |                             |
|--------------------|-----------------|----------------------|--------------------------------|-----------------------------|
|                    |                 | 通常に動く<br>状態を1日<br>保つ | 時計が停止<br>してから通常<br>に動き<br>出すまで | 時計が停止<br>してから<br>充電完了<br>まで |
| 屋外 (晴天)            | 100,000         | 3 分                  | 45 分                           | 12 時間                       |
| 屋外 (曇天)            | 10,000          | 12 分                 | 2 時間                           | 35 時間                       |
| 30W 蛍光灯<br>の 20cm下 | 3,000           | 40 分                 | 5.5 時間                         | 120 時間                      |
| 屋内照明               | 500             | 4 時間                 | 40 時間                          | -----                       |

9. 充電警告機能

秒針が1秒運針から2秒運針に切り替わり、充電不足になったことをお知らせします。  
2秒運針をはじめてから約3日以上経過すると、充電不足で時計は停止します。

【注意】 2秒運針しているときは定時受信、強制受信および手動での時刻修正はできません。



★「受信」「受信結果の確認」「時差修正」「基準位置の確認/修正」の最中に充電不足が発生すると、自動的に操作を中断し、操作前時刻に戻り2秒運針をはじめます。充電不足にならないように、常に充電を心掛けてください。

通常に動く状態を1日保つ………  
時計を通常運針で1日動かすのに必要な充電時間。

時計が停止してから充電完了まで………  
時計が充電不足で停止している状態から最大に充電されるまでの充電時間。

【注意】 充電完了後、一度も充電されないと持続時間は約6ヶ月となります。パワーセーブが作動しているときは、約1.5年間、時刻を刻み続けます。ただし、充電不足で停止してしまうと、表のように時計が動き出すまでに時間がかかりますので、毎日の充電を心掛けてご使用ください。なお、月に一度は直射日光を当てて充電されることをお勧めします。

10. 過充電防止機能

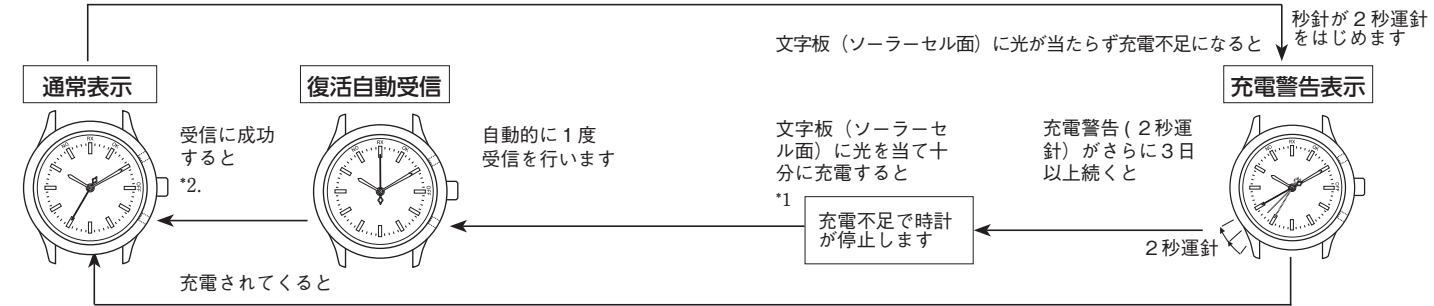
ソーラーセルに光が当たり、二次電池が充電完了すると、それ以上充電されないように自動的に過充電防止機能が働きます。  
どんなに充電しても二次電池や、時間精度、機能、性能等に影響をおよぼす心配はありません。

11. パワーセーブ機能

文字板に光が当たらない状態が7日以上継続した場合は、各針が12時位置で止まり、パワーセーブ（節電状態）になります。  
文字板に光を当てるとパワーセーブが解除され、針が高速で回転して現在時刻にもどります（最大約7分程度かかる場合があります）。

12. ソーラーパワーウォッチ特有の機能について

この時計は、充電不足になると表示が次のように切り替わります。



13. 故障かな？と思ったら

< 電波受信機能 >  
故障かな？と思ったら時は、以下の項目をご確認ください。

| 状 況                                         | 確 認                 | 対 処 方 法                                                       |
|---------------------------------------------|---------------------|---------------------------------------------------------------|
| 受信を開始しない。                                   | 秒針が「RX:受信中」に移動しますか？ | (A) ボタンを押し続け、秒針がRX位置を指したら指を離してください。                           |
|                                             | 受信 OFF になっていませんか？   | 「3. E. 受信 ON/OFF の切替方法」を参照ください。                               |
| 受信はできるが、時報等の時刻と合わない。針がNO/RX/OFFの丁度の位置を指さない。 | 基準位置が正しくセットされていますか？ | 基準位置を確認してください。基準位置が正しくない場合は、「6. B. 基準位置の修正方法」を参照し、合わせ直してください。 |

| 状 況                   | 確 認                              | 対 処 方 法                                                                    |
|-----------------------|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 受信できない。<br>(受信可能地域内で) | 電波をしゃべりする物やノイズを発生する物が近くにありませんか？  | 電波をしゃべりする物や、ノイズが発生する物を避けて、時計の9時位置を窓際に向け受信してください。                           |
|                       | 窓から遠い場所で受信していませんか？               | 場所、方向、角度を何度か変えて窓際の受信しやすい場所を探してください。<br>「3. 電波受信について」《受信が困難な場所について》を参照ください。 |
|                       | 受信中で秒針がRXを指しているときに、時計を動かしていませんか？ | 受信が終了するまで（通常運針に戻るまで）時計を動かさないでください。                                         |
|                       | 受信 OFF になっていませんか？                | 「3. E. 受信 ON/OFF の切替方法」を参照ください。                                            |

14. ソーラーパワーウォッチ取り扱い上の注意

時計は常に充電を心がけてお使いください

■日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。

■時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 注意 充電上の注意

- 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温（約 60℃ 以上）での充電は避けてください。  
例）
  - 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電  
※白熱灯で充電するときは、必ず 50cm 以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
  - 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電

二次電池の交換について

- この時計に使われている二次電池は充電を繰り返して行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。  
ただし、長期間使用されますと、菌の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなります。定期的な分解掃除（有料）をお奨めします。

⚠ 警告 二次電池の取り扱いについて

- お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。  
やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。
- 万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

⚠ 警告 指定の二次電池以外は使わないでください

- この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。  
他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

15. お取り扱いにあたって

⚠ 警告 防水性能について

- 時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。（1bar は約 1 気圧に相当します）
- WATER RESIST (ANT) ×× bar は W.R. ×× bar と表示している場合があります。
- 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- 日常生活用防水時計（3 気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。

| 名称          | 表示                          | 仕様              |
|-------------|-----------------------------|-----------------|
|             | 文字板または裏ぶた                   |                 |
| 日常生活用防水時計   | WATER RESIST(ANT)           | 3 気圧防水          |
| 日常生活用強化防水時計 | WATER RESIST(ANT) 5 bar     | 5 気圧防水          |
|             | WATER RESIST(ANT) 10/20 bar | 10 気圧防水、20 気圧防水 |

| 使用例                                                                               |                                                                                    |                                                                                     |                                                                                     |                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |  |  |  |
| 水がかかる程度の使用。（洗顔、雨など）                                                               | 水仕事や一般水泳に使用。                                                                       | スキューバダイビング、マリンスポーツに使用。                                                              | 空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。                                                               | 水滴がついた状態でのもりゅうずやボタンの操作。                                                             |
| ○                                                                                 | ×                                                                                  | ×                                                                                   | ×                                                                                   | ×                                                                                   |
| ○                                                                                 | ○                                                                                  | ×                                                                                   | ×                                                                                   | ×                                                                                   |
| ○                                                                                 | ○                                                                                  | ○                                                                                   | ×                                                                                   | ×                                                                                   |

⚠ 注意 人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

⚠ 注意 使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたまもりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店へ修理、点検を依頼してください。
- 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
  - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
  - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
  - 入浴するときは時計をはずす。
- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど）が外れる危険があります。

⚠ 注意 携帯時の注意

<バンドについて>

- 皮革バンドやウレタンバンド（ゴムバンド）は、汗や汚れにより劣化します。定期的な交換を行ってください。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。（脱色、接着はがれ）また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンド（ゴムバンド）は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取り替えください。

- 以下の場合、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
  - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
  - バンドのピンが飛び出しているとき
- お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります。バンドの調整は、お買い上げ店にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

<温度について>

- 極端な高温 / 低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。



<磁気について>

- アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。  
磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

<ショックについて>

- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

<静電気について>

- クォーツ時計に使われている I C は、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

<化学薬品・ガス・水銀について>

- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

<保護シールについて>

- 時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

 **注意** 時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないうちにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
- 汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド（ゴムバンド）は水で汚れを洗い落としてください。
- 金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。  
この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

16. 定期点検（有償）について

安全に永くご使用いただくために、2～3年に一度点検（有償）を行ってください。  
防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行ってください。

17. 製品仕様

- 機種：H 33 ※
- 型式：アナログソーラーパワーウォッチ
- 時間精度：非受信時（電波を受信していないとき）  
平均月差± 15 秒（常温+ 5℃～+ 35℃携帯時）
- 作動温度範囲：－ 10℃～+ 60℃
- 表示機能：●時刻：時、分、秒
- 付加機能：●電波受信機能（定時受信、強制受信、復活自動受信）  
●受信局自動選択機能（日本標準電波専用）  
●受信中表示機能（RX）  
●受信結果確認機能（OK, NO）  
●受信 ON/OFF 選択機能  
●手動時刻修正機能  
●基準位置確認 / 修正機能（0 時 0 分 0 秒）  
●光発電機能  
●充電警告機能（2 秒遅針）  
●過充電防止機能

- 持続時間：●充電完了後、充電しないで時計が停止するまで  
：約 1.5 年（パワーセーブが作動しているとき）  
：約 6 ヶ月（パワーセーブが作動していないとき）  
●充電警告表示～充電不足で時計が停止するまで  
：約 3 日  
（持続時間は電波受信回数等によって異なります。）
- 使用電池：二次電池（ボタン型リチウム電池）1 個

※製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。